



復興庁

Reconstruction Agency

復興・創生 その先へ

スペシャル・セッション資料

復興庁

福島広域まちづくり班

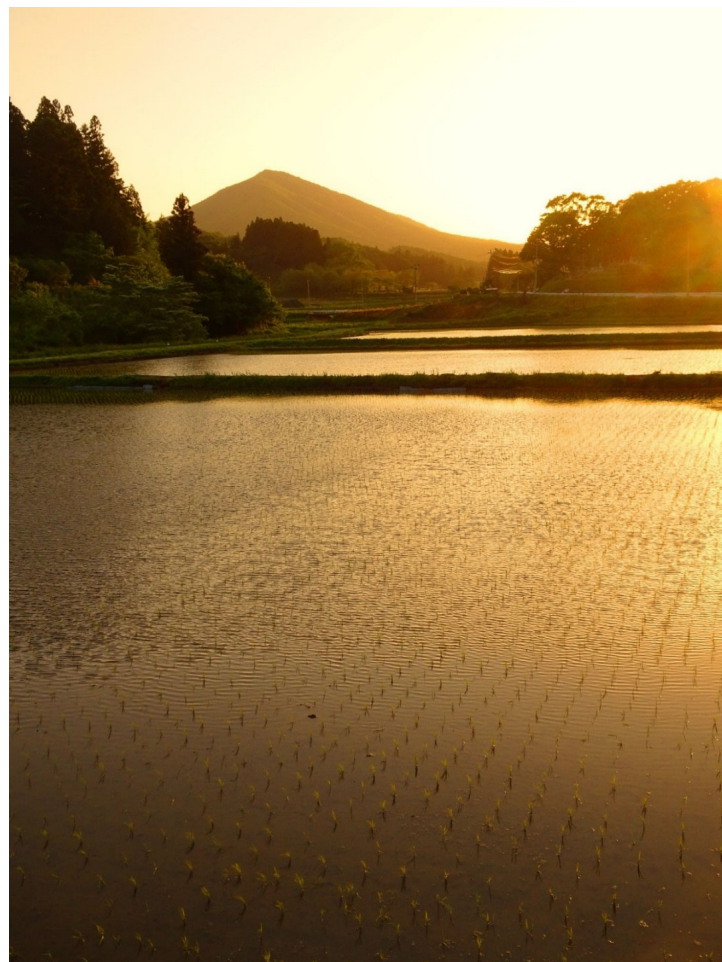
究極の豊かさを知っていますか？

余計なものなど何もない

あるのは豊かな自然と 人のあたたかさ

ここでしか味わえない 時間の流れ

究極の豊かさが 葛尾村にはあります



かつらお
葛尾村



ささやかで しあわせな日々

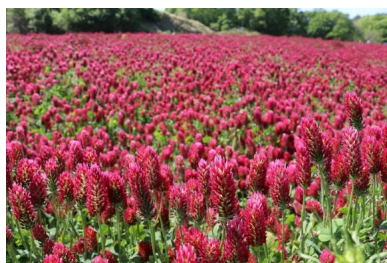
日々のくらしを大切にする生活は
ささやかだけれど しあわせなこと

当たり前のようできて 自分の周りでは
なかなか見つからない しあわせな時間

明日からまた がんばれそうな気がする



かつらお
葛尾村



第3回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウム

富岡町



『とみっぴー』
富岡町公式
マスコットキャラクター





「福島県双葉郡教育復興ビジョン」

(2013 (平成25) 年7月31日 福島県双葉郡教育復興に関する協議会) 20240619中田

【双葉郡教育復興の方針】

- 1 双葉郡の復興や、持続可能な地域づくりに貢献できる「強さ」を持った人材を育成する
- 2 子供たちの実践的な学びが地域の活性化にもつながる、教育と地域復興の相乗効果を生み出す
- 3 双葉郡から新しい教育を創り出し、県内・全国へ波及させる。

【具体的な方策】

- 1 各学校段階を通じて一貫した価値観の教育目標・カリキュラムによる教育
 - ① 中高一貫校の設置、②幼稚園・小学校の整備、③各町村立幼小中学校の連携
・・・義務教育学校・コミュニティスクール
- 2 多様な主体との連携による教育の充実
 - ① 学校と地域コミュニティの連携、②大学等との連携、③企業・NPO等との連携
- 3 避難している子供たちや住民との絆づくり

【方法論とカリキュラム】

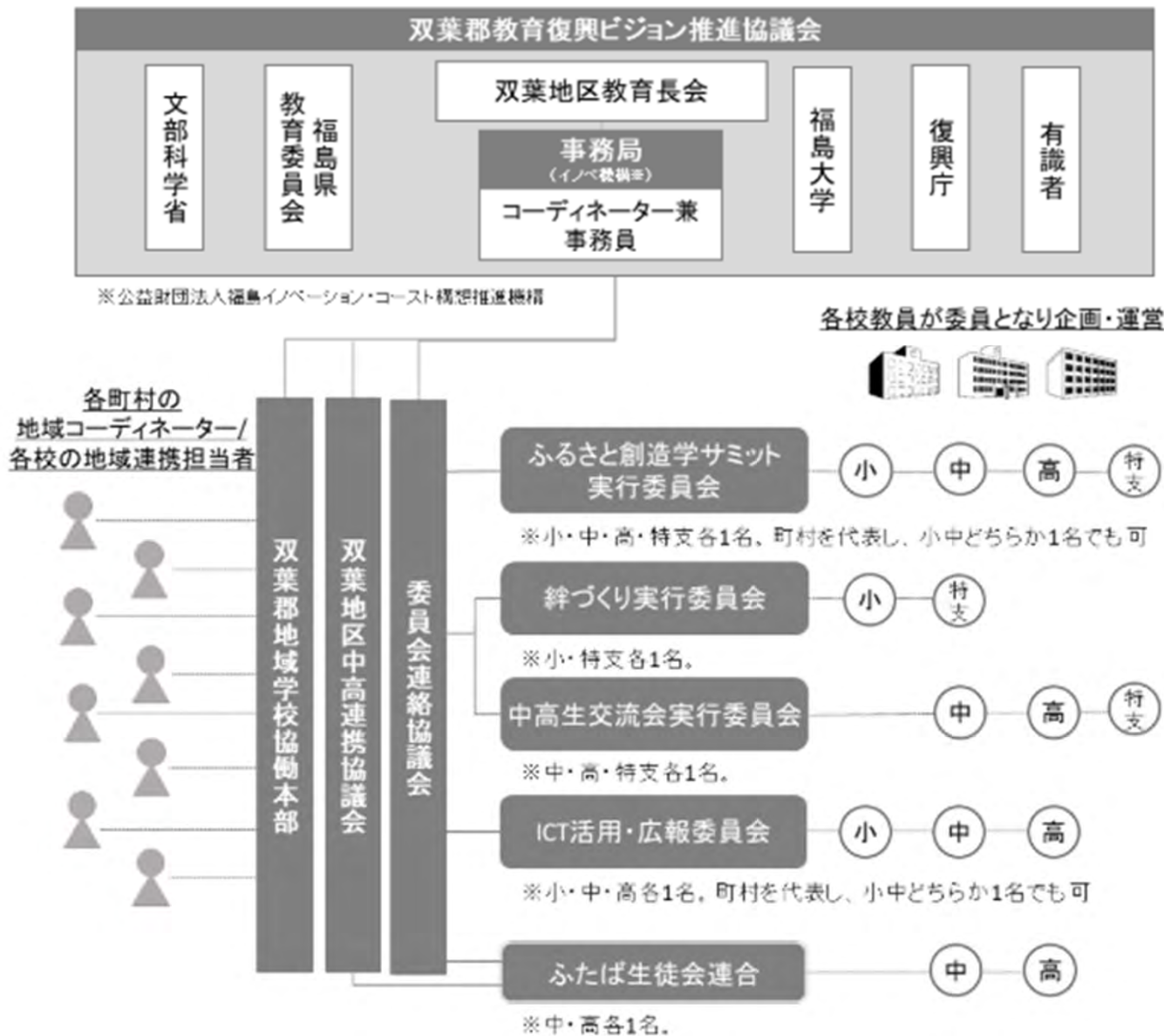
- 教育内容：困難な課題に挑戦し、未来を創る力を育成する教育課程の実践
- ふるさと創造学：単なる知識の集積ではない「課題解決型」の教育
- 教育方法：地域課題を学校教育と関連付けるアクティブ・ラーニング
- 教育・学習観：復興支援に携わる様々な人との交流経験を生かし、多様な主体と連携した学校づくりと教育を推進

★伝達される知識・技術・情報の量

→ 対話的な関係性の中でその価値や意味を体験的につかみ取る教育・学習へ

【充実した教育環境の整備のための取組】

- 6か年を有効に使える中高一貫教育（9年間の小中一貫教育：義務教育学校）
- 教員加配やALT等による指導体制の強化
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの充実等、子供たちの生活を支える体制の整備
- 学校施設の充実と、ICT環境等の各種設備の充実（学校施設内にビルトインされたコミュニティスペース）



従来の先生方の実行委員会に加え、ふたば未来学園の高校生2名が中心となり、中高生実行委員会が正式に発足！
川内小中学園、楢葉中学校、ふたば未来学園の中学生が参加し、実行委員としてプログラムの企画・運営を行いました。
中には小学生の時に交流会に参加していたという中学生も！



02 レポート 第8回 双葉郡中高生交流会 FUTABA 1DAY SUMMER SCHOOL

2023年8月3日(木) in 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)

4年ぶりに、普段の学校生活の中ではできない体験をしながら、町村や世代を超えた交流を通じて学ぶサマースクールが、対面での開催となりました!

講師は例年どおり「ふたばの教育復興応援団」の秋元康さんがプロデュース!

双葉郡内外の中高生が6つのクラスに分かれ、特別講師の皆さんとあつい夏の日を過ごしました。



総勢312名!!

03 レポート 第10回 双葉郡ふるさと創造学サミット ～伝えあい、つながって、広がる ふるさとふたばの学び～

2023年12月2日(土) in 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)



4年ぶりの完全対面開催となり、513名の児童生徒がふたば未来学園に集結しました!!
YouTubeでのライブ配信を行い、県内外から多くの方々にも視聴いただきました。

学びあいセッション

1セッション30分で、前半15分は自分たちの学びの発信、後半15分は参加者を交えた対話の時間とし、10か所の会場に分かれて計4回、併せて40セッションが行われました。

自分達だけでは思いつかなかった課題や問題点などを他の学校と共有できて、良いものにできました。

思った以上に人がたくさんいて緊張したけれど、話し合いの時色々なことが知れて、発表や話し合いが好きになりました。



子どもの未来と地域社会の創造的教育復興

ヒント！

- ① <学び合うコミュニティ>の創出：関係的教育・学習実践のさらなるネットワーク化、学校と地域の協働
- ② 次世代にバトンを渡す大人の成長と責任：地域社会全体で子どもと地域の未来を創造（社全協集会・放送大学・生涯学習社会の構築）
- ③ 地域社会と協働で支える子どもの成長と地域の未来
- ④ F-REI福島国際研究教育機構（Fukushima Institute for Reserch, Education and Innovation）がもつ教育・学習実践に関わる協働的展開の可能性
 - ・国際性
 - ・住民と専門的叡智との協働（住民の地域創造過程における主体的参画・・・ふるさと創造学の実践等）
- ⑤ 多様な人材モデルとの出会い
 - ・価値観・文化観・社会観の更新と常識の再構築
 - ・身近な若手・女性・女性研究者の新たな視点を・・・生活者の視点：安心して暮らせる社会とネットワーク

・地域協働スペース「双葉みらいラボ」

：ふたば未来学園の校舎の真ん中に設置

「いつでも、だれでも」目的にあわせた空間設計

①「カフェふう」を中心としたカフェスペース：住民も利用、②集中して学習に取り組むことのできる「協働学習ルーム」、③地域の情報が集まる「双葉郡コーナー」、④動画視聴ができる大画面「ウォールビジョン」、⑤学校内の探究学習で生まれたプロジェクトの紹介コーナー

・川内小中学園コミュニティハウス「地域文化伝承教室にじいろ」

：子ども・教員・住民たちが出会うコミュニティハウス

校舎内には、地域と学校をつなぐコミュニティハウス「地域文化伝承教室にじいろ」も設置。地域活動やパソコン教室、ピアノ教室などで村の人々が訪れる機会も多く、閉鎖的になりがちな学校という存在を、村民にとってより身近なものにしています。「にじいろ」は休み時間や放課後などには子どもたちにも開放されています。



9年生は学校のリーダーとして、学校をよりよくしようと考え、国語の時間を利用して「読み聞かせ活動」を展開。この姿を、後輩たちは受け継ぎ、学校の新しい伝統に。

「安心して心豊かに生活できる場所」としての復興 ～生活者の視点・女性の視点～



会津高校でのトップセミナー

エフレイ
サイエンスラボ開催



科学実験教室開催



福島県立医科大学でのトップセミナー



福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)